

開館時間 (火)~(金) ▶ 9時~17時

(土)・(日) ▶ 9時~16時

休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

■問い合わせ 多久市立図書館 ☎75-2233

【7月の休館日】

6日(月)、13日(月)、

20日(月・祝)、27日(月)



佐賀出身の偉人
辰野金吾
河上眞理、清水重敦／著
(三内ルヴァ書房)

明治時代を代表する建築家で、東京駅や日本銀行本店など今も残る名だたる建物の数々を設計した人物。謹厳実直な人柄で「辰野堅固」というあだ名があったそうです。様々なエピソードとともに、新たな資料を元に日本建築の歴史に残した足跡をたどる1冊です。



よるのかえりみち
みやよし あきこ／著
(偕成社)

夕方になって家々に明かりがつかはじめる頃、遊びつかれた男の子はお母さんに抱っこされて、お家に帰ります。窓辺のあたたかな灯りの向こうには、いろいろな人々が過ごす夜の時間がありました。夜は静かにふけていきます。



アレハンドロの大旅行
きたむら えり／著
(福音館書店)

おとなしいアレハンドロを心配した両親は、アレハンドロを旅に出すことにしました。「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」ということを約束して、遠くに見える丘のてっぺんまで行くことになりました。無事に行き帰ってくる事が出来るでしょうか…。

【おすすめの新着本】

【その他おすすめの本】

図書館からのお知らせ

児童向き

一般向き

【感想文課題図書がそろいました】

より多くの人に利用していただくために、貸し出しは、ひとり1冊1週間にします。みなさんご協力をお願いします。

※詳しくは、図書館におたずねください。
☎75-2233

※定員20人(申込順とします)

※7月19日(日)までに図書館へ申し込んでください

※13時30分~15時30分

※7月24日(金)

※中央公民館2階視聴覚室

※身近な材料を使って遊べる楽しいものを作ります。

※作って遊ぶほう！さかなつり＆金魚すくいゲーム

【夏休み工作教室】

- ◆孫物語 (椎名 誠)
- ◆物語が生きる力を育てる (脇 明子)
- ◆山月庵茶会記 (葉室 麟)
- ◆忘れられた巨人 (カズオ・イシグロ) (ブティック社)
- ◆みんなの手作りステコ (フティック社)
- ◆おうたんぼどうのムッシュトマーレ (香坂 直)
- ◆向かい風に髪なびかせて (河合 二湖)
- ◆本物そっくり！昆虫の立体切り紙 (今森 光彦)
- ◆むらさき色の滝 (常木 蓬生)
- ◆世界のまんなかの島 (クレア・A・ニヴォラ)

市交際費の支出状況

▶平成27年度5月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
甲 慰	今月分	0	0
	累計	1	5,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御 祝	今月分	5	15,600
	累計	11	36,200
賛 助	今月分	2	8,000
	累計	2	8,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	0	0
	累計	1	3,560
会 費	今月分	3	12,000
	累計	9	33,000
その他	今月分	0	0
	累計	1	3,400
合 計	今月分	10	35,600
	累計	25	89,160

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

人権教育 No. 219

とくに生

「心を見がく」

人は、生まれながらにして他の者から拘束・支配を受けられないで、自分自身の気持ちに従える自由や、かたよりや差別がない平等さと、幸せで健康に生きる権利を持つています。人であれば、どこにいても、だれにでも、いつでも、尊ばれ、守られ、誰もが侵してはならない人権があります。しかし、本人の努力によってどうすることも出来ない事柄で不利益な扱いをされる事例が報告されています。

だとして私たちにも人を傷つける可能性はあるということになります。心は磨かなければ曇ってしまいます。正しいものは正しいと感じる素直な気持ち、間違っているものは間違っているといえる冷静さと勇氣。だからこそ常日頃から心磨きが求められます。

多久市では、人としての根源的な生き方を学ぶ機会が用意されています。それが6月から始まった「心のセミナー」。差別の現実に学び、現象を深く掘り下げる重要性などを自覚させられます。また、熱心な講師陣によって正義感がよび起されることでしょう。

知らないものに対して抱く警戒心や不信感には誰にでもあること。無知こそが差別を産み育てているのかもしれない。

多久市人権・同和教育推進協議会
会長 川内丸信吾